

平成29年度 第1回安全教育研修の開催

平成29年10月3日（火）、東海ノア協定に基づく平成29年度第1回安全教育研修が、日本原子力研究開発機構 原子力人材育成センターを会場に、協定加盟4事業所から10名が参加し、開催されました。

研修は、前半に講義を行い、後半に各種放射線測定の実習が行われました。

【講義】

- （１）放射性物質のいろいろな性質
- （２）ニホニウム～日本初の新元素の合成及び発見～
- （３）放射線防護の基礎

【実習】

- （１）各種放射線の測定

講義では、「放射性物質のいろいろな性質」と題した放射性物質の歴史・性質等に関する講義に続き、日本初の新元素の合成及び発見となった新元素ニホニウムについて、外国との競合も交えた合成に至る経緯の講義が行われました。その後、「放射線防護の基礎」についての講義が行われました。

実習では、放射線測定器に関する説明に続き、外部被ばくを防護するため、①線源から離れ距離をとる、②線源を遮へいする、といったことについて、線源とサーベイメータを用いた実習を行いました。また、GM管式サーベイメータで線源がどこにあるかを特定する実習も行いました。

研修後に実施したアンケートでは、ニホニウムの講義内容が「専門的過ぎる」との回答がありましたが、カリキュラム・講義内容・実習内容・1日コースについて「適当」との回答が90%から100%を占めました。また、研修全般にわたっての意見、要望では、「放射線測定器を使用して使い方が理解できた」、「実習でサーベイメータを使えて良かった」との回答があった一方で、「初めて機械をさわるので使い方がよく分からない部分があった」との回答がありました。本日の研修については「有効であった」が100%でした。

【研修風景】

講義及び実習の様子

